

# 「文化力の拠点」における新県立中央図書館

## 新県立中央図書館 基本構想

目指すべき姿

① 県民の生涯学習・  
読書活動の拠点  
としての図書館

② “ふじのくに”の  
ことなら何でも  
わかる図書館

③ 県内市町立  
図書館等を強力に  
支援する図書館

④ 県民が出会い  
交わり、新しい文化を  
育む図書館

既存サービスの  
拡充

新規機能

## 新県立中央図書館 基本計画(案)

時代に応じた県立図書館の役割

### 図書館サービス

- ・快適な閲覧環境による資料提供
- ・専門的レファレンス、課題解決型支援
- ・多様な県民の特性に対応
- ・子ども図書館による児童サービス
- ・デジタル化・オープンデータ化推進
- ・講座・イベント、ネット利用サービス
- ・「葵文庫」など貴重書の常設展示
- ・歴史文化情報センターの併設

### 市町立図書館等への支援

- ・県全体の図書館サービスを底上げ
- ・先進的サービスの試行

### 資料整備計画

- ・既存の収集方針を維持しながら拡充

### 「読書県しずおか」の推進

- ・読書推進施策を集約し推進

「文化力の拠点」との連携

### 「文化力の拠点」施設に伴う機能

- ・本のある「新しい知的空間」を設置
- ・賑わいを創出する事業の実施

## 新県立中央図書館の特徴

### 県民の知のインフラとしての図書館

本に囲まれる  
体験

- ・豊富で多彩な蔵書を身近に利用  
確かな収蔵能力、公開書庫 → **開架日本一規模**
- ・調査・研究に没頭できる落ち着いた環境  
様々なタイプの閲覧席、高度なレファレンス
- ・誰もが利用しやすい施設とサービス  
開館時間の延長、ユニバーサルデザイン
- ・静岡県全体を支える県内図書館の支援  
市町立図書館、学校図書館の支援
- ・読書活動の推進拠点  
全点収集の児童書を有する **子ども図書館**
- ・県民の情報保障拠点  
豊富な地域資料、県史編さん資料、歴史的公文書

利用者想定 年間100万人  
 収蔵能力 170万冊～200万冊程度  
 想定規模 16,000㎡程度



### 新しい知的空間

- ・図書館の枠を超えた新しい「本のある空間」の創造  
「文化力の拠点」各機能を本棚がつなぐ  
新書、マンガも含めたテーマ別配架で「静岡を知る」  
交流を通じて新たな文化を創造  
本・モノ・コト・人で静岡の文化と知を体験